

大野市行政改革戦略会議（第1回） 会議結果の概要

令和3年11月10日（水）午後2時30分～4時30分
市庁舎 1階 第1会議室

出席者 大野市行政改革戦略会議委員 4名（欠席者なし）

行政経営部長、財政経営課長、財政経営課員、総務課長、総務課長補佐、総務課員

1 座長あいさつ

桑原座長あいさつ後、進行

2 議 題

（1）大野市公共施設再編計画について（資料参照）

平成29年3月に策定した「大野市公共施設等総合管理計画」の基本方針では、市が現在保有する公共施設については、財政や人口規模に応じたものとなるよう、適正配置及び適切な維持管理・修繕等に取り組み、公共施設の総量縮減を図ることとしています。

大野市公共施設等総合管理計画には、施設の適正配置に特化した行動計画である、大野市公共施設再編計画編（平成30年3月改訂）と施設の長寿命化を図るための個別施設計画編（令和3年3月改訂）があり、今回、大野市公共施設再編計画編を改訂するにあたり、委員より意見をいただき、大野市公共施設再編計画編（案）を作成したい。

委員から出された意見については、別紙のとおりである。

3 その他

特になし

4 閉 会

常見副座長あいさつ

別 紙

【委員から出された主な意見は以下のとおりです】

- ・説明のあった方向性で基本的に問題はないと思うが、民間任せにならないように進めてほしい。
- ・今回の内容について、大枠的には賛成であるが、指定管理者の活用についても明記しておく方が良いと思う。個別の施設をどうするかといった時には、様々な課題が出てくるので、過去の事例を分析し、考えていくと良い。
- ・新しく施設を作る時に限って PPP や PFI という手法が必要になるのではなく、最近では、パーク P F I といった方式もある。
- ・住民の意見を大事にした上で、全体を平等に進めていくことが大切である。
- ・各施設の評価方法について、数字化されていることで説得力が増していると思う。市としての方向として、基準は明確に示す必要がある。数値の低いところから削減していくという考えもあるが、公共施設に関しては単純ではない。
- ・資料 No.1 の「得点集計表と方向性」の表について「判定パターン」は不要ではないか。
- ・市民に提示する時の市の基準が大切である。地図にプロットするなどすると、説得力も増すのではないか。地元の方の使い方を確認し、「存続」か「廃止」かだけではなく、他の施設で代用できないか、多用途での利用ができないかなど、複合的に考えてもらうことも必要ではないか。議論に時間をかけられないものがあるのか確認し、検討の優先順位をつけると良い。
- ・現在大野市でも「地域づくり」という観点での取り組みが進められており、個別の施設に関しては、地域の自主性に任せるということも大切である。